

平成 30 年度事業報告

概要

公益財団法人になり 5 年度を迎え、従来からの牛乳博物館の事業運営に対して、公益法人としての活動を強化するため、下記のように事業を実施した。

事業活動

(1) 牛乳博物館の運営

本年度の来館者は 5326 人（前年比 109%（456 人増））で前年より増加の成績でした。入館記録を作成し、来館目的、来館者の分析をおこなった。

(2) 酪農乳業文化資産の公開・収集・分析

1) 資産の公開 貸出・取材・紹介の掲載

- ① 教育機関⇒幼稚園（入学前に社会見学）・小学校（社会科見学）・高校（就職活動）・大学・専門学校（食品会社の学習）。
- ② スーパーのお客⇒（とりせん・ビックエーのお客様サービス）。
- ③ 研修員の見学⇒アジア農協（IDACA 主催・日本農業（特に乳製品）の勉強）・日本農産工業（取引先研修）・県酪連（女性部の活動）など。
- ④ 役員の勉強会⇒埼玉倫理法人会（44 名）・古河商工会議所（96 名）（優良企業の紹介）。
- ⑤ 見学者募集⇒館林郷谷公民館・筑西養蚕公民館（公民館など地域住民を募って見学⇒地域活動）。
- ⑥ 施設の利用⇒老人デイサービス・障害者施設・支援学級など利用者見学（社会活動実績報告など）。
- ⑦ 親子見学⇒3～5 人の親子（子供の教育）。
- ⑧ 卒論の指導⇒文教大学栄養学部 4 年生⇒学校給食の歴史⇒博物館展示保存。
- ⑨ 16 万人達成記念⇒総和第一幼稚園。
- ⑩ 牛乳瓶などの貸出⇒J ミルクシンポジウム⇒ブリキ缶及びガラス瓶・デラックスミルクカー。

2) 牛乳博物館 PR 活動

- ① 4 月：「ものづくり記念館博物館辞典（日外アソシエーツ制作）に掲載。
- ② 5 月：週刊ポスト 5・25 号特集「企業博物館の逸品」の紹介記事掲載。
- ③ 6 月：農林水産省広告誌「aff（あふ）」牛乳 5 勺ブルキ缶掲載。
- ④ 7 月：茨城企業紹介 BOOK「COURSE」に博物館記事掲載。

- ⑤ 8月：東京新聞（8・17）茨城版お宝拝見に牛乳博物館記事紹介。
（詳細、対策などは、別紙・牛乳博物館見学者数管理表による。）

3) 資産の収集

- ① 酪農博物館（北海道新冠郡新冠町本町45・館長佐々木正昭）
当館に出張（中田代表理事・矢澤理事・トモエ乳業 関氏）して、牛乳壺・
スタンションなど収集。
- ② 書籍及び引き札等収集。

4) 資産の分析

- ① 資産の整理及び登録、②陳列方法の変更及び改善、③普及啓蒙の啓蒙（ホ
ームページパンフレットなど）、の分析の実施。

(3) 管理部門

- 1) ・平成30年5月15日 第一回理事会開催
・平成30年5月31日 第一回評議員会開催
・平成31年3月13日 第二回理事会開催
- 2) 予算案の策定
・2019年度の事業計画及び予算案を策定する。